



遊佐高かわらばん

山形県立遊佐高等学校

第 66 号 (平成 30 年 3 月発行)

この号の内容

- 1 総合学科での学び 発表会
- 2 総合学科第 1 期生 19 名卒業
- 3 2 年次 遊佐小学校と学習交流
- 4 1 年次 ライフプラン作成・発表
- 5 部活動紹介 ソフトテニス部

遊佐高等学校創立 90 周年記念事業

「生まれ変わる遊佐高校

ー総合学科での学びー」

発表会 平成 29 年 12 月 15 日
展 示 平成 29 年 12 月 15 日~21 日

平成 29 年 12 月 15 日(金)、遊佐町生涯学習センター町民ホールにおいて、遊佐高等学校創立 90 周年記念「生まれ変わる遊佐高校ー総合学科での学びー」発表会を開催しました。平成 27 年度から総合学科となり、今年度はすべて年次が総合学科となる完成年度を迎えました。地域で学ぶ・地域に学ぶ学校独自の科目も展開され、遊佐高校総合学科でのこれまでの学びを地域の皆さんに紹介することができました。

発表会に参加くださった方も 100 名を超え、これまでの体験的な学びを継続しながら、さらに社会参加・社会貢献につなげることへの期待をはじめとする数多くの貴重な意見や感想をいただきました。地域の温かな眼差しに包まれた遊佐高校で学べる幸せと学びが広がり深まっていることを改めて実感するものとなりました。



すべての生徒が少なくとも 1 回は発表。
生徒数が少ないため発表以外に受付や進行などの運営でも活躍しました。

第 63 回卒業証書授与式

総合学科第 1 期生 19 名卒業

平成 30 年 3 月 1 日(木)、第 63 回卒業証書授与式が行われ、総合学科 1 期生となる 19 名が卒業しました。

校長は式辞の中で、『^{しっぶう}疾風に^{けいそう}勁草を知る』という故事を紹介し、「若者らしくまじめに、前向きに」とエールを送りました。また、祝辞では遊佐町長より、勇氣と知恵で未来を切り拓くことへの期待や直面した困難を乗り越える際には家族や友達存在と遊佐の自然を思い出してといった励ましをいただきました。



答辞を述べる今野麻未さん

卒業生代表の今野麻未さんは「入学当初の不安が、卒業する今は希望に変わった」と高校生活を振り返り、「社会では少し背伸びして大人の仲間に入っていきたい」と述べました。在校生を代表して、生徒会長の伊藤風海さんは「先輩の励ましで生徒会活動も自信をもって取り組めた」と感謝を述べ、卒業生が築き上げたものを継承しながら充実したものにしていくことを約束しました。

	進学					就職				進路未定	合 計
	四 大	短 大	専門 学校	看護 医療 系	進路 先未定	小 計	県 内	県 外	就職 先未定	小 計	
男			1			1	3	1		4	5
女		2	6			8	6			6	14
計	0	2	7	0	0	9	9	1	0	10	19
備 考	進学希望者数					9 名	47.4%				
	就職希望者数					10 名	52.6%				

平成 29 年度 進路先一覧

進学

・山形県立産業技術短期大学校庄内校
・山形県立産業技術短期大学校庄内校
・国際調理製菓専門学校
・酒田調理師専門学校 (3)
・仙台工科専門学校
・専門学校東京ビジュアルアーツ
・横浜テクノオート専門学校

国際経営科
電子情報科
栄養士学科
調理科
大工技能科
サウンドプロデュース科
自動車整備科

就職 (県外企業)

・若井興業株式会社

就職 (県内企業)

・(株)アトリエ比 加曾
・(株)インテック
・エネクスフリード(株)
・おくやまスマイル農園
・北星印刷(株)
・(有)木村屋
・社会福祉法人幾久会 特別養護老人ホーム幸楽荘
・(株)福祉のひろば
・(株)葉山館



2 年次生 遊佐小学校とイバラトミヨ生態研究で交流

イバラトミヨの校地内保全池と水槽での飼育や人工的飼育への挑戦を行っている遊佐小学校さんから本校2年次にお声がけいただいたイバラトミヨの関する交流学习会が、2月13日に実現しました。

小学生の皆さんには少し難しい内容と思っていたのですが、真剣に聞いてくれましたし、高校生の問いかけにも気持ちよく反応してくれました。また、児童のみなさんからは「グラフがまとまっていてわかりやすかった」、「イバラトミヨをこれからも守っていききたい」など、これからの学習や研究の励みになる感想をいただきました。

後半は、電子紙芝居「クロマツ林に受け継がれる思い」を発表しました。練習の成果が現れ、本番では心を込めたセリフでの発表ができました。そして最後には、小学生のみなさんから素敵なプレゼントもいただき、とても充実した交流になりました。

昨年の12月18日(月)には吹浦小学校への交流訪問も実施しました。地域に根ざす高校として、これからも地域の幼稚園・保育園そして小・中学校と交流を深めていきたいと思ひます。イバラトミヨの研究は3年次でも継続し、県外のシンポジウム等でもその成果をどんどん発信していきたいと考えています。



児童の前に研究成果を発表



発表後、児童からプレゼントをいただくサプライズに喜びと緊張!?

1 年次生 ライフプラン作成・発表

1年次生は、授業「産業社会と人間」において、地域で活躍する人の話を聞いたり企業や上級学校を見学したりしながら、自己理解と職業理解を深める学びを行い、秋にはインターンシップにも取り組んできました。この1年間の学習のまとめとして、自らの人生を見通し、〇〇代にはこうありたい、□□を実現したいなど、夢や目標を計画した「私のライフプラン」作成に取り組み、それぞれが考えたライフプランを発表するとともに、それらをまとめた冊子制作も行っています。

2月23日(金)には、国際ソロプチミスト酒田のみなさんを前に「私のライフプラン」を発表し、「地域とのつながりを大切に」、「若い人の力で平和な社会に」などのアドバイスをいただきました。



国際ソロプチミスト酒田の皆さんを前にライフプランを発表

部紹介

ソフトテニス部

ソフトテニス部は、未経験者3名を含む8名(1年生3名、2年生5名)で活動しています。以前は同好会でしたが、平成24年度より部活動として活動しています。練習内容は、ストローク、ボレー、サーブ、レシーブ等基本的なことをメインに行っています。春の地区高校総体では1勝もできませんでしたが、夏の練習を頑張り、新人戦では春に太刀打ちできなかった強豪校からも2ゲームを取るなど、良いプレーが随所で見られるようになりました。これからも仲間と切磋琢磨しあいながら、日々技術を磨き、試合では決してあきらめることのないプレーを目指していきます。

高校卒業後も生涯スポーツとしてソフトテニスを続け、楽しむことで、これまでお世話になった多くの方に感謝の気持ちを伝えたいと思います。



壮行式での堂々とした行進



あきらめないプレーで目指すは勝利